

第3回 西部圏域児童発達支援事業所情報交換会

○日時：令和7年12月4日（木）10時～11時30分

○場所：総合療育センター 第1会議室

○参加者：7事業所 18名 +のびっこワールドスタッフ

○内容：事業所紹介 米子市立あかしや

講義「伝える 伝わることを楽しもう」 のびっこワールド言語聴覚士

グループディスカッション

事業所紹介では、あかしやで大切にされている多職種連携に触れながら、5領域それぞれの支援、保護者支援、地域との交流など、「手をかけ、目をかけ、心をかけ、言葉を添えて」様々な取り組みを紹介いただきました。

講義では、児童発達支援と放課後等デイサービスの5領域「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」について、こどもと関わる基本姿勢 SOUL（Silence 静かに見守る Observation よく観察する Understanding 深く理解する Listening 耳を傾ける）について説明した後、発達段階ごとの大人の関わり方について、のびっこ保育士が以下の行動を身近な絵本を題材に説明しました。

スライドの一部ですが抜粋したものを紹介します。

◎ミラリング 子どもの行動をそのまま真似る

◎モニタリング 子どもの音声やことばをそのまま真似る

◎パラレル・トーク 子どもの行動や気持ちを言語化する

◎セルフ・トーク 大人自身の行動や気持ちを言語化する

◎リフレクティング 子どもの言い誤りを正しく修正して聞かせる

◎エキスパンション 子どものことばを意味的、文法的に拡充して返す

◎モデリング 子どもが自分の伝えたいことを表現するための適切な伝達のモデルを示す



【寸劇の様子】

グループワークは、時間を長めにとって、「コミュニケーションの状態を評価しよう」「ことばを育てる遊びを選択しよう」をテーマに、各グループで事例を紹介し合いながら意見交換を行いました。

「言葉の発達の枝分かれ図」をもとに、事例はどの発達段階なのか、関わる大人が工夫していること、「視覚支援」をどのタイミングで取り入れているかなど、ディスカッションは大いに盛り上がりました。

次回は、令和8年3月10日（火）
を予定しています。

皆様のご参加、お待ちしております。

